

教頭
田中 照近

「樫田のような世界に生きる」

『エスキモーの本』を書いたピーター・フロイヘンは、セイウチ猟がうまくいかず帰ってきたとき、猟に成功したエスキモーの狩人から肉をもらいました。フロイヘンがいくども礼を言うと、男は無然として言った。「この国では、われわれは人間である」「そして人間だから、われわれは助け合うのだ。それに対して礼をいわれるのは好まない」

これは交換経済とは異なる贈与経済の本質を示しています。負債を意識すると、貸借関係が生まれ、人の上下関係が生まれます。だから、肉をもらったことに対する直接的な返礼は必要ない。その負債は、別の人に対する贈与として返済すればよい、ということです。

この「贈与経済」の考え方は、現代の「交換経済」に先行して成立し、今の社会にも残存しています。例えば、親は子供に対して、様々なものを分け与え続けます。代償は求めません。贈与と相互扶助が無意識の状態で行われているからこそ、社会は維持され続けているのです。つまり樫田のようなものです。樫田は二つの中心を持ち、相反する二項が、反発しながら必要としている状態を表します。人は一つの中心をもつ完全な円を求めがちですが、その純粋社会は危ないものです。

しかし、「樫田」によって成り立つ社会は、すっきりしません。その分、矛盾する価値観の間で葛藤しながらバランスを保つ平衡感覚を必要とします。これからの世界を生きる君たちは、物事を多面的に考え、多様性を大切に生きていってほしい。がんばれ！鹿工生！

Ⅱ類実習棟が新しくなりました！

建築系 新しくなって変わった事,良くなった事

移動については、建築系を含めⅡ類の生徒については全般的に教室との移動が以前より近くなり便利になったと思います。

新実習棟については、設置された各実習室は他のⅡ類系との関係から旧実習棟時代より各部屋とも広くなり全体的に余裕を持ちながら授業を受けられる状態です。

食堂利用について余談ですが、旧実習棟時代は旧食堂が真正面にあり食堂利用については校内で1番の利便性があったと思われます。しかし、一方で新入生が入学してしばらくすると、各部活動独特の挨拶の連呼(挨拶大会の様相?)で時間帯によっては声のボリュームがマックスということもありました。現在は3階に実習棟が設置され、以前より食堂まで、やや遠くなりましたが利便性についてはさほど悪いとは思いません。



CAD室



測量実習室



計画設備実習室



製図室



陶芸実習室



廊下

Ⅱ類実習棟が新しくなりました！

建設技術系 新しくなって変わった事,良くなった事

今回の実習棟の改築によって、実習棟全体が明るく、清潔になりました。旧実習棟では、光や風がなかなか入らず、暗くじめじめした印象がありましたが、廊下が広くなり、窓も大きくなったので、採光や風通しも視野に入れた設計がなされており快適です。そして、何より測量室が広く、雨の場合でも外業（測量の外作業のこと）が室内で実施可能な床や広さで設計されており快適な巨大空間になっています。新Ⅱ類棟は、柱が少なく、巨大空間を保つためにP C鋼線を導入しており、そのため耐震性にも大変優れています。また、その最先端のデザインをピロティーにて見ることができ、青空の下、気軽にピロティーに出て休み時間にリラックスできる等、新たな生徒の憩いの場所となっています。



ピロティー



ピロティー



パソコン室



測量実習室



材料構造実習室



建設技術系

インテリア系 新しくなって変わった事,良くなった事

真新しい実習棟の最上階4階が、インテリア系の主な実習室が集まるフロアとなりました。これまで本館の教室から見て、学校敷地の端から端に位置していた実習室がぐんと近くなり、生徒の教室移動や授業のスタートもずっとスムーズで便利なものになりました。

また、多くの実習室が同じ階に隣同士まとまったため、複数の実習室を移動しながら一つの実習作品に取り組むことができ、自由度の高い授業やものづくりが気軽に展開できるようになりました。特に生徒一人一人がそれぞれのテーマに沿って作品制作を行うことが多い3年生の授業では、CAD室で資料を収集したり図面や画像を作成し、各実習室で実際に加工するなどの工夫が、より効率的に行われています。

明るくきれいになった新実習室で、これまで以上に皆でものづくりを楽しみ、魅力ある作品を生み出していきたいと思います。



CAD室



絵画実習室



陶芸実習室



機械加工室



機械加工室～組立実習室



工芸実習室

部活動紹介 No.1

硬式野球部

「甲子園から呼ばれるチーム」になるために、鹿工野球の進化を目指し、心の持ちよう、意識の改革を始めました。我々は単に活動の歴史を重ねるだけではなく、新たな伝統を創造するために、日々の練習場所、活動など、「今ここ」こそが甲子園という意識で鍛錬を重ねることで人間力向上を目指しています。技術はまだ二流、三流ですが、誰からも応援される人、チームになれるよう「心」を表す日常の「姿勢」をまず一流に変えていきます。



ラグビー部

現在ラグビー部は、部員40名で活動しています。ラグビーを通して人間形成をはかり、GRITというチームテーマのもとに「困難にあってもくじけない闘志」「やり抜く力」を大事にしています。鹿工生の徹底できる力と、ラグビーの自由な発想と工夫を取り入れ、判断行動し全国での活躍を目標としています。昭和28年(1953年)創部
全国高等学校ラグビー大会(花園)13回出場
全国選抜ラグビー大会 1回出場
全国セブンズラグビー大会 1回出場
(ボルトーナメント準優勝)
全九州総体ラグビー大会 24回出場
全九州新人ラグビー大会 20回出場



バドミントン部

バドミントンは、マラソンやボクシングに匹敵する大変ハードなスポーツで、鹿工バドミントン部は、8年連続で九州大会出場を果たす強豪チームです。ただ、今年は3年生の先輩たちが抜けた穴は大きく、優勝どころか、九州大会すら危うい状況です。新型コロナウイルスも含め、苦しい日々が続きますが、こんな時こそ目標と過程を大切に、自分たちにできること毎日、笑顔で頑張りたいと思います。応援よろしくお願いします。マネージャー募集中です。



ハンドボール部

- ①略歴 1949年(昭和24年)創部
全国高校総体出場30回 全国選抜大会出場5回
②部員数 37名
③活動場所 伊敷グラウンド
④部員の目標 学業を怠らず、自己管理を徹底するなどハンドボールプレーヤーとして必要な土台づくりに努める
⑤チームの目標 自主・自立、環境整備、体づくり



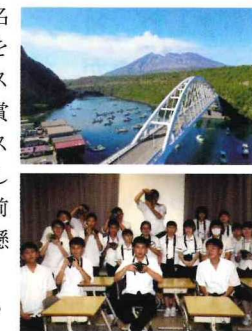
吹奏楽部

部の伝統である目標「心・響・楽・伝」(心を伝え、響きを伝え、音楽の楽しさを伝える)、スローガン「明るく、楽しく、そしてシビアに!」「困難を楽しむ!」のもと、部員53名で活動しています。学校行事の他に「県吹奏楽コンクール」(今年は中止)と「定期演奏会」(12月24日:宝山ホール開催予定)において、成長した姿を披露できるよう、日々の練習に取り組んでいます。先日は、校内ミニコンサートを開催し、多くの生徒や先生方前で演奏し、音楽の素晴らしさを再確認することができました。これからも頑張ります!



写真部

写真部はK3の高尾歩叶部長を中心に、1年9名・2年9名・3年8名の計26名で、毎週火曜日と木曜日に活動しています。昨年は九州高校総合文化祭宮崎大会の県代表に2名選抜出場し、県高校写真展では奨励賞等を受賞しました。また、市景観写真コンテストではジュニア部門最優秀賞及び優秀賞を独占し、県土木デザインフォトコンテストでも学生最優秀賞等受賞の結果を残しました。今年は、県高校写真展において前年以上の結果を出すことを目標に、一生懸命頑張っています。応援をどうぞよろしくお願いいたします。



建築部

建築部は、部員全員で難関資格取得を目指し日々切磋琢磨しています。CAD検定から国家資格の大工技能検定、施工管理者試験を「コツコツ」ずつ自分で考える。取得して自分の適性と実績を踏まえ進路選択をする。」をモットーに活動しています。そうすることで社会に出てから不一致を理由に退職することがないからです。ただ、資格を取るだけの部活ではありません。地域の行事に参加して、自分達で製品を作ったり、販売をします。また、企業や地域からの依頼品を製作して貢献もします。ものづくりの楽しさや達成感を味わえるところが魅力のひとつだと思います。建築は、一人で黙々と造れるものではありません。色々な職種の方々と協力して一つのものを完成させるものです。コミュニケーションや相手の思いやりや創造力など大切な能力です。その能力を養い高めたいける部活動にしたいと思います。



機械部

私たちは、高校生のロボット競技大会や溶接競技会、ものづくりコンテストの旋盤作業部門への出場に向けて、日々製作や練習に励んでいます。昨年度は、全ての競技で全国大会や九州大会への出場を果たし、部員一丸となってチームワークの大切さや、ものづくりの楽しさを実感できました。現在は、各競技において「県大会優勝」を目標に、部員一人一人が目標を意識し、チームワークを大切にしながら、ものづくりの知識と技術の習得に励んでいます。



留学生セザリー君より

こんにちは。昨年9月からポーランドの交換留学生として、本校に在籍していたセザリー・シマンスキです。ここでの一番の思い出は大運動会です。大会当日、大きな太鼓を叩く役割をいただきました。皆さんの視線が自分に集まり、とても緊張しましたが、とてもよい経験になりました。他にも修学旅行などたくさんの思い出をつくることができました。

この期間、多くの人と出会い、そして日本の素晴らしい伝統や文化を数多く学びました。生徒の皆さんや先生方、この期間でお世話になった多くの方々に感謝しています。鹿工の一員になれたことを誇りに思います。今までどうも有り難うございました。



生徒総会

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、例年とは異なる形での開催となりました。各クラスの総代は、事前の議案説明会で各議案についての説明を受け、自分のクラスでの審議を行いました。そして、その結果を持ち寄っての代議員会で、生徒会としての決議を行いました。初めての試みで、どうなるか心配されましたが、学校への要望や生徒会としての取り組み等、活発な議論が交わされました。今後も、限られた条件の下での生徒会活動になっていくとは思いますが、その中でも充実した活動となることを期待しています。



図書館案内

モットーは「各人の興味関心に寄り添う」です。興味関心を広げ深めてもらえるよう、手品などの実演やトーク会・文化祭などのイベント等を図書部三役が中心になって企画しています。もちろん館内整理にも気を配っています。読書が役立つ・面白いと知ってほしいからです。12月に全校生徒で行うビブリオバトルは、納得の人気本から意外な本まで多種多様なオススめが出てきます。その年の読書の集大成ともいえるイベントで、個人個人の興味関心をシェアしあい認め合う取り組みです。今年も嬉々としてビブリオに参加してもらえるよう、図書館は、読書のきっかけづくりに精進していきます。

夏休み・9月の
主な行事

8月 4日(火) 中学生日帰り体験入学①
8月 5日(水) 県高等学校ロボット競技大会
8月20日(木) 親子ものづくり学習会
8月26日(火) 中学生日帰り体験入学②
8月31日(月) LHR・大掃除・授業

9月 1日(火) 始業式
9月 9日(水)・10日(木) 実力考査
9月19日(土) 第72回大運動会
9月24日(木)～9月30日(水) 教育相談

編集
後記

新型コロナウイルスの影響により、県高校総体・九州大会の中止のため、6月19(金)発行予定のROKKO新聞168号はできませんでした。また、高校生ものづくりコンテスト九州大会・全国大会中止等のため、従来の内容を変更して今回の発行にいたしました。今後も、様々な視点から記事を見直し、新しいROKKO新聞を作ってまいります。